

## むらさき朝会（協力）

今日6日（木）は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「友だちと協力して学校生活を送ろう」です。私の方からは、子供たちに次のような話をしました。

協力の「協」は、十（おおい）は「多くのものを集める」、荔（ケフ）は「多くの力」から成り、多くの力を寄せ集める意味を表します。そして「三人寄れば文殊の知恵」という諺を紹介し、みんなで協力するよさを伝えました。一つ目が「目標に向かうには、仲間と一緒に歩むと、効果的に前に進めること」、二つ目が「一人ではできないことも、みんなの力を合わせるとできること」です。

そして、「努力は足し算、協力はかけ算」であることを話しました。例えば、本を一日3ページずつ読むと、 $3+3+3=9$ ページとなり、100日間続けると300ページになります。これは、自分の力となり、「🍎帯西レッド」の心が伸びます。また、力を合わせる場面として、新聞係の話をしました。学級新聞を一人で作ろうとすると時間がかかります。しかし、何人かで協力して作ることで、時間が短縮されるばかりか、一人では思いつかないことも、みんなのアイデアでよりよいものが生まれます。これはみんなの力となり、「🟡帯西イエロー」の心が伸びます。このように友達と協力することで、3人が2ずつ頑張ると、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ となつて、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 = 16$ となるのです。つまり、人数が多くなればなるほど、結果が大きくなります。しかし、かけ算の落とし穴として、一人でも協力しない人がいると、 $2 \times 2 \times 0 = 0$ となつてしまい、さらに力を出し惜しみすると、 $1 \times 1 \times 1 = 1$ となり結果が変わりません。協力する学校にするためには、「①チームの目標をはっきりさせる ②決まったことは必ず実行する」ことが重要であることを伝えました。

さらに「水は低きに流れ、人は易きに流れる」という諺も紹介し、昨日の学校だよりでもお伝えした、ゴミを拾ってくれた6年生の話を引用し、みんなが勝手なことをし出すと結果は「散々」なものになるので、「力を出すためには、楽な方に流されない」「自分の1以上の力を出す！」ことの大切さを伝えました。そして協力する場面として、朝のボランティアの様子を提示し、他にも授業中や当番、係、委員会活動、集会活動や行事等で、協力できる場面を探して欲しいと話をしてむらさき朝会を終えました。

学校・学級は、年度末を迎えます。子供たち一人一人が、学級目標を意識して実践を重ね、その達成を目指して一回り成長して欲しいと思います。

